

## 経済学研究科の求める教員像および教員組織の編制方針

福岡大学が定める「求める教員像および教員組織の編制方針」を踏まえ、経済学研究科の求める教員像および教員組織の編制方針を次のとおり定める。

### (求める教員像)

経済学研究科は、「経済学の基礎的・先進的な研究を進展させる場とこれらの高度な専門知識を社会のなかで実践する場を統合的に提供することで、経済学と関連する諸科学についての高度な専門的知識を備え、それらの基礎的・先進的研究の進化を図ると同時に、高度な専門知識を社会のなかで効果的に適用できる有為の人材を育成する」という理念のもと、「学術研究の発展を担う高度な研究能力を持った研究者となるための基礎力の育成、高い見識と専門的知識を備えた専門職業人」、さらに「高度な研究能力を備え自立して研究活動を遂行し、基礎的・先進的研究の発展に寄与し得る優れた研究者、社会人、経済人、産業人、国際的リーダー」を養成することを目的とする。これを実現するために、以下の能力を有した教員を配置する。

- 経済学を含めた社会科学を対象とした教育・研究活動を行うものであることから、「経済史学」、「理論経済学」、「応用経済学・経済政策学」、「計量経済学・統計学」、「行動経済学・地域科学」などの分野を専門とする者。
- 基礎科目分野から各専門科目分野まで高度に専門的な知識の研究指導が可能である研究者を配置している。分野別の教員像、教員組織の編成方針は、具体的に以下の通り。

### 1. 経済史学分野

記述史料や統計史料等を収集して解説・分析し、歴史的視座から経済現象を解明・考察できる者。

### 2. 理論経済学分野

理論経済学分野は、最もクリエイティブな研究活動が求められる分野である。このため、教員自身が最先端の研究関心を持ち、旺盛な研究活動をすることによって、学生の研究意欲を喚起することが求められる。この目的のため、ミクロ分野、マクロ分野、学説史分野などの、第一線で活躍する研究者を配置する。また、研究指導に有機的関連性を持たせる組織編成を実現する。

### 3. 応用経済学・経済政策学分野

経済理論と制度に通暁し、理論とデータに基づき、具体的な経済問題の分析および政策提言ができる者。

#### 4. 計量経済学・統計学分野

計量経済学・統計学の理論の研究ができる者、及びデータに基づく仮説検証や予測を通じて政策立案や企業的意思決定に貢献できる者。

#### 5. 行動経済学・地域科学分野

調査やデータ、そして人々の行動に基づき、地域や社会経済の分析および政策の考察・提案ができる者。

- 本研究科の円滑な運営に協力し、積極的に参加する意欲を有する者。

#### (教員組織の編制方針)

##### 1. 教員組織

- 経済学研究科では、研究科の人材養成に関する目的を実現するため、「経済史学」、「理論経済学」、「応用経済学・経済政策学」、「計量経済学・統計学」、「行動経済学・地域科学」などの分野に教員を配置する。
- 経済学研究科では、学部との連携を図るという観点から、原則学部構成員全員を研究科構成員とする。
- 編制にあたっては、研究上国際的に優れた業績を上げている研究者を中心に配置し、教育においてバラエティーに富んだ教員構成を実現する。

##### 2. 教員の人事

- 博士課程前期の研究指導補助教員と研究指導教員、博士課程後期の教育指導補助教員と研究指導教員などの昇格においては、「大学院教育職員資格審査基準に関する規定」と「経済学研究科博士課程前期研究指導教員<sup>㊸</sup>および M 資格審査基準第3条(1)・(2)に関する申し合わせ」「研究指導教員<sup>㊹</sup>および D 資格審査基準についての申し合わせ」に基づき、研究の業績や教育上の能力について厳正な審査を行う。

##### 3. 教員の資質向上

- FD 検討会や講演会などを開催し、教育内容と教育方法の向上を目指す。
- 経済学部先端経済研究センターによる研究活動支援の積極的利用を促し、研究科教員の研究能力の向上を目指す。
- 学術雑誌などへの論文投稿に加え、学会や研究会などへの積極的な参加を通じて、自身の研究能力向上ばかりでなく研究指導についても意見交換し、教育・研究能力の向上に向けて取り組む。